

産地生産基盤パワーアップ事業評価書

(収益性向上対策)

都道府県名	事業実施 地区数 (ア)	評価対象 外地区数 (イ)	評価対象 地区数 (ア-イ)	成果目標の平均達成率 ※	評価対象地 区数のうち、都道府 県が地域協 議会へ改善 指導を必要 とした地区 数	地方農政局 等から都道 府県計画の 改善指導の 必要の有無	【参考】 評価対象地 区数のうち、達成率 80未満の地 区数	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
熊本県	43	28	15	55.0%	7	有	7	本県において今回の事業評価対象となった15地区のうち、8地区が成果目標を達成(達成率90%)しており、当該事業の実施が産地の生産力の向上に繋がっている。 しかし、成果目標が未達成となった残る7地区については、今後ヒアリング等を実施し未達成要因を分析するとともに、関係機関と連携しながら、品質向上や収量増加に向けた指導及び成果目標達成に向けた取組の推進を図っていく。	熊本県の成果目標平均達成率は、国が達成と判断する90%に対し55.0%であり、目標は達成されていない。 このため、農政局から県に対し、成果目標の達成に向けた要因分析及び改善措置の提出を求めるとともに、未達成の地域協議会及び取組主体に対しては、県担当者から指導を行うなど、県による主体的な取組を指導する。 なお、熊本県が改善措置を必要とした地区(達成率90%未満)の概要は、7地区である。 〈参考: 成果目標未達成地区の概要〉 【小麦】2地区 評価対象の4地区のうち、目標未達成地区は2地区となっている。「販売額増加の目標」が未達成となった1地区は、一部の生産者が降雨により播種期が遅れ、生育不良となってしまった。もう1地区は収穫時期の5月下旬に降雨が続いたことでほ場に機械を入れることができず、収穫が遅れたことで品質が低下した。また、一部倒伏が見受けられたことから未達成となった。 【野菜】4地区 評価対象の6地区のうち、目標未達成地区が4地区となっている。「販売額増加の目標」が未達成となった3地区の主な要因は、2地区(ナス)は、厳寒期の天候不順や高温の影響により収量及び品質の低下、1地区(アスパラガス)は、天候不順及び高温傾向にあることから収量及び単価が低調、「契約栽培の割合目標」が未達成となった1地区(ナス、ピーマン)の主な要因は、青枯れ病の発生により収量が減少したことから未達成となった。 【果樹】1地区 評価対象の1地区について、高温の影響により施設果樹の生産量が低下したことに加え、特に不知火類の上位等級品率が低下したことから、「販売額の増加の目標」が未達成となった。

※小数点第1位まで記載する